

千葉市感染症発生動向調査情報

2017年 第28週 (7/10-7/16) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		28週	27週	26週	25週
上段:患者数 下段:定点当たりの患者数 「定点当たりの患者数」とは 報告患者数/報告定点数。	小児科	18	18	18	18
	眼科	4	5	5	5
	インフルエンザ*	27	28	28	28
	基幹定点	1	1	1	1

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	7/10-7/16	7/3-7/9	6/26-7/2	6/19-6/25	7/3-7/9
			28週	27週	26週	25週	27週
小児科	RSウイルス感染症		0	1	1	1	23
	咽頭結膜熱		8	15	14	14	188
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		59	63	49	71	495
	感染性胃腸炎		106	102	108	108	604
	水痘		8	5	11	13	44
	手足口病	◎★★★	137	134	80	37	367
	伝染性紅斑		0	0	0	0	7
	突発性発しん		16	15	13	12	76
	百日咳		0	0	0	0	1
	ヘルパンギーナ	◎★★★	136	85	33	29	233
	流行性耳下腺炎		6	1	5	3	45
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		0	0	4	2	11
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎		1	6	6	10	34
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	1
	マイコプラズマ肺炎		0	1	1	0	3
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(8件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	20歳代	IGRA検査等	腸管出血性大腸菌感染症	男性	10歳未満	病原体の検出及びベロ毒素の確認
結核	男性	40歳代	病原体等の検出等	急性脳炎	男性	10歳未満	高熱、中枢神経症状、先行感染症
結核	男性	60歳代	IGRA検査	急性脳炎	男性	10歳未満	高熱、中枢神経症状、先行感染症
結核	男性	60歳代	病原体等の検出等	-	-	-	-
結核	女性	50歳代	IGRA検査	-	-	-	-

*第28週は、結核5件(121)、腸管出血性大腸菌感染症1件(4)、急性脳炎2件(14)の報告があった。

※ ()内は2017年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第28週のコメント

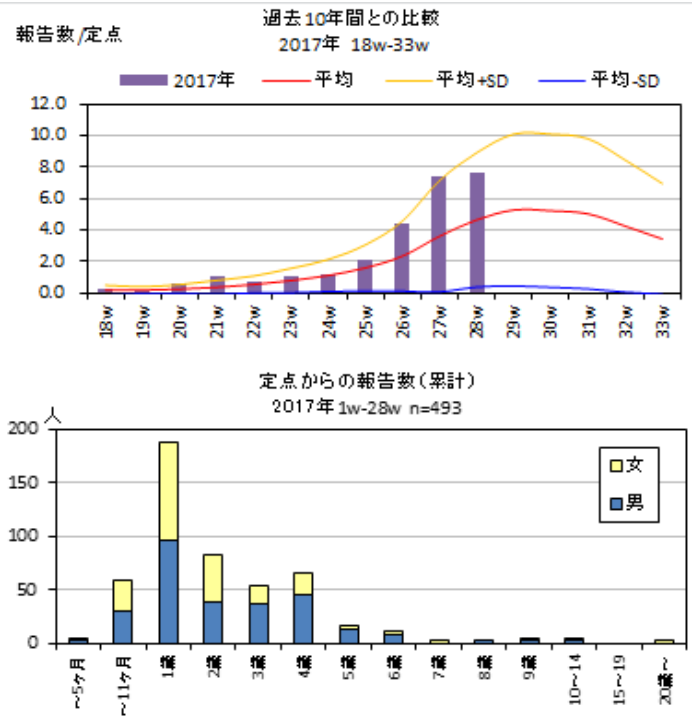
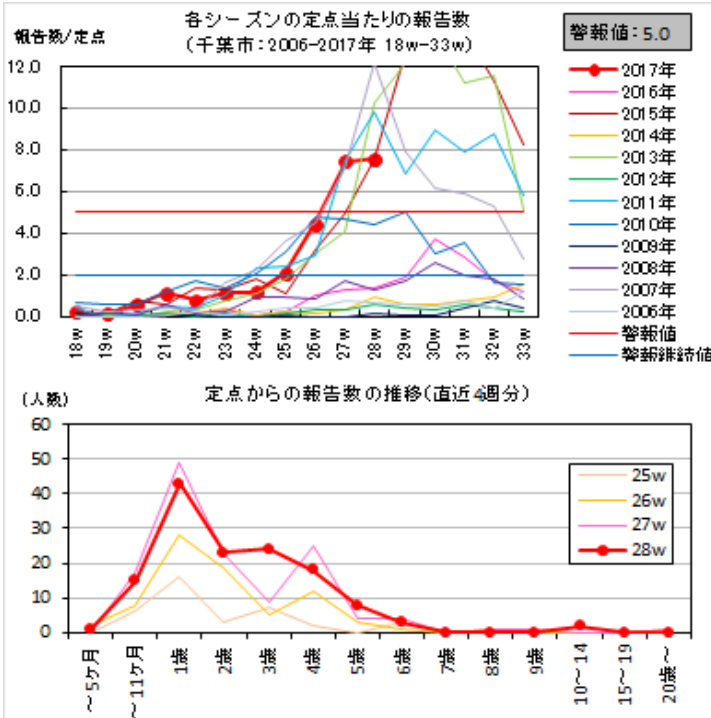
<手足口病> 前週より増加し7.61となった。流行発生警報開始基準値を上回ったまま。過去10年の同時期と比べると多い。

<ヘルパンギーナ> 前週より増加し7.56となり、流行発生警報開始基準値を上回った。過去10年の同時期と比べると多い。

■ トピック ■

<手足口病>

全国レベルの第27週は、過去9年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では、高知県、鳥取県、滋賀県の順で多く報告されています。千葉県は全国レベルより少なめとなっています。千葉市の第28週は前週よりやや増加し7.61となりました。流行発生警報開始基準値(5.0/定点)を上回ったままで、過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は、稲毛区(15.3/定点)で流行発生警報開始基準値を上回り最も多く、同区の1歳で最も多く発生報告がありました。他は中央区以外全ての区で流行発生警報開始基準値を上回っています。2017年第1週から第28週までの累積報告数(n=493)によると、性別では男性が56.4%(278名)、女性が43.6%(215名)で、年齢階級別では1歳(38.3%:189名)、2歳(16.6%:82名)、4歳(13.2%:65名)の順に多くなっています。



<ヘルパンギーナ>

全国レベルの2017年第27週は過去10年の同時期と比べると少なくなっています。都道府県別では福岡県、佐賀県、大分県の順で多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べるとやや多めとなっています。千葉市の2017年第28週は前週から増加し7.56となり、流行発生警報開始基準値(6.0/定点)を上回りました。過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は、緑区(15.3/定点)で流行発生警報開始基準値を上回り最も多く、同区の1歳で最も多く発生報告がありました。他に稲毛区(14.0/定点)及び若葉区(7.0/定点)でも流行発生警報開始基準値を上回っています。2017年第1週から第28週までの累積報告数(n=320)によると、性別では男性が51.6%(165名)、女性が48.4%(155名)で、年齢階級別では1歳(28.1%:90名)、2歳(19.7%:63名)、3歳(16.6%:53名)の順に多くなっています。

